

経営内容公開

～より信頼とご理解をいただくために～

稚内しんきん
ディスクロージャー

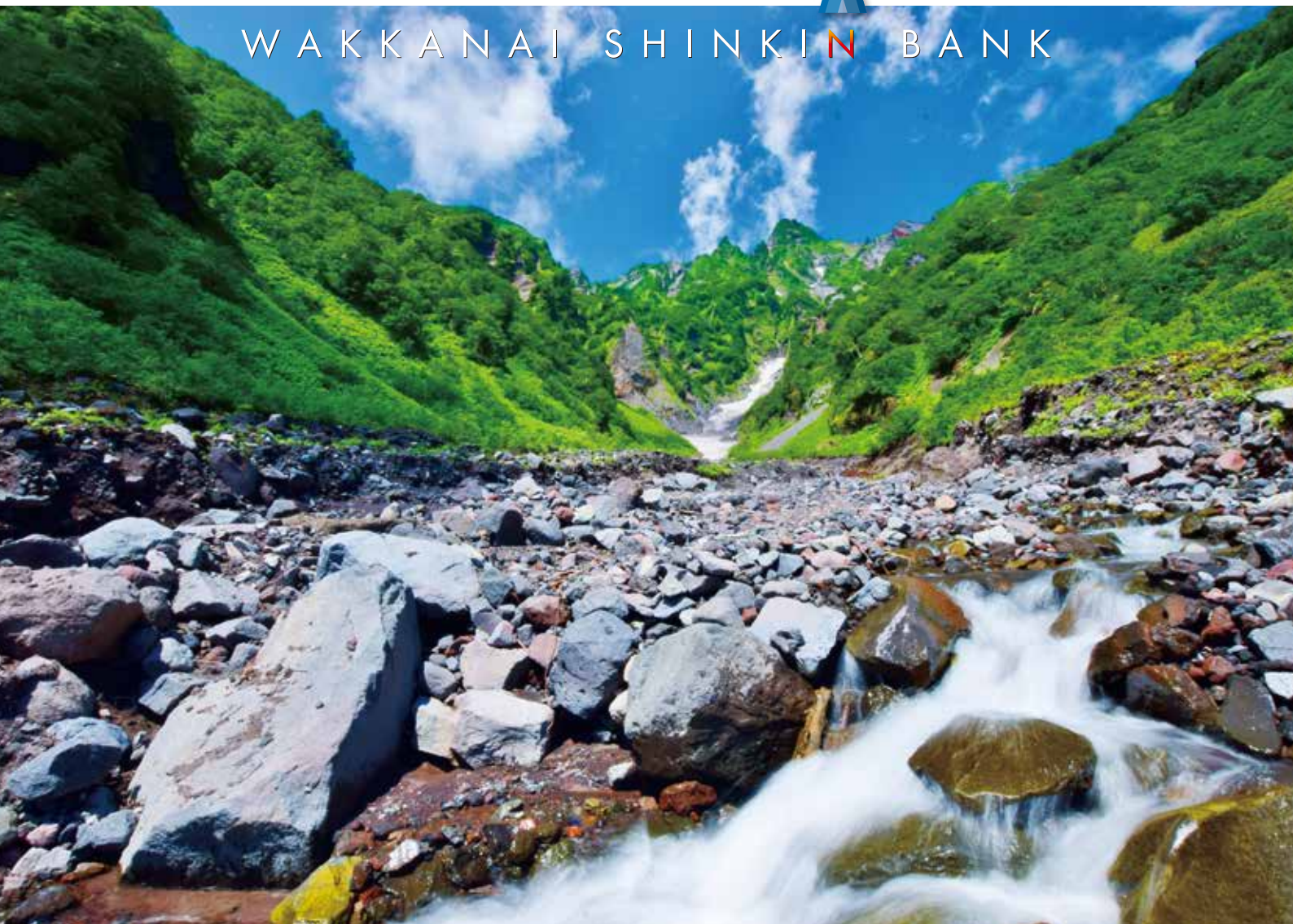
2025年4月1日～2026年3月31日

情報編

REPORT

2026

WAKKANAI SHINKIN BANK



利尻山南陵と万年雪を頂くヤムナイ沢（利尻礼文サロベツ国立公園・利尻富士町/鬼脇）

写真：イメージナビ/アフロ



ごあいさつ

盛夏の候 格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

2025年度の日本経済は、緩やかな回復基調が続き、日経平均株価も史上最高値を更新しました。また、賃上げと物価高が同時に進む中、デフレ脱却に向けた動きが見られ、日本銀行は安定的な物価目標の達成に向けた政策金利の段階的な引き上げを行いました。一方ではアメリカ、イスラエルとイランとの軍事衝突による地政学リスクの高まりから、エネルギー事情に先行き不透明感が出ました。

当地域におきましては、観光客やビジネス客の需要は堅調に推移していますが、人口減少や廃業等による事業所の減少、また、あらゆる業種における人手不足の深刻化による機会損失、物価上昇による個人消費の停滞が経済に影響を与えました。

このような経営環境の中、当金庫の預金は、個人向け国債へのシフトや地方公共団体の公共設備投資等による支出により、期末残高で前期比0.7%の減少となりました。貸出金は、約定償還が進み、個人ローン残高が減少したことにより、期末残高で前期比0.7%の減少となりました。

収益面では、資金運用収益・調達費用が共に増加した中、債券売却を抑えたことで、当期純利益は5億92百万円、前期比25.5%の減益となりました。

当地域は依然として人口減少と高齢化に直面しておりますが、今後一層の観光・食・エネルギー等のポテンシャル発揮が期待されております。

当金庫は、地域金融機関として皆様から信頼され、安心してお取引いただけるよう、普遍的理念である信条の下、役職員一同不断の努力を傾注して参りますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

2026年7月

理事長 増田 雅俊

CONTENTS [主な内容]

P 1	信条・マークコンセプト
P 2	金融仲介機能のベンチマーク
P 4	人財
P 6	地域貢献・トピックス
P 9	お客さまとの相互交流

P 10	経営内容のポイント
P 12	自己資本
P 14	開示債権の状況
P 15	貸出金等の償却・引当基準
P 16	市場占有率

P 17	総代会機能
P 20	沿革・歩み
P 21	稚内しんきんの概要
P 22	店舗一覧・地区一覧

人をつくる。 未来をつくる。 創業以来の理念。

稚内しんきんの経営理念は、1961年に、井須孝誠経理課長（後の理事長・会長・最高顧問）が提案し制定された次の〈信条〉に集約され、稚内しんきん発展の礎となっています。

この信条がもつ普遍のポリシーは、時代が変わり、人が変わっても、脈々と受け継がれています。

信 条

- 稚内信用金庫は地元と共に繁栄します。
- 一、勇気と矜りをもって限りなき進歩を、そして発展を。
 - 一、お客様には親切に、早く、正確に、そして真の奉仕を。
 - 一、従業員には安定した生活を、そして幸福を。
 - 一、会員には良質な資金の供給を、そして公正な配当を。
 - 一、より強固な基礎を築く為に蓄積を、そして大きな信用を。

マーク コンセプト

白い丸は日の出の太陽と和、そして清潔さを表し、“光は北方から”を象徴する。周囲のオレンジ色は、北方圏の夜明け、そして若々しい情熱と暖かい心を表し限りなき進歩を象徴する。

ブルーの部分は母なる豊かな海を表し、中央の利尻富士を形どった山とともに、稚内信用金庫の発祥と、よってたつ基盤を象徴する。

白い丸を囲む全体の形はWakkanaiのキャピタルレターWを形づくる。



1979年、職員の作品をベースにこのシンボルマークとキャッチフレーズ「こころのかよう」が制定されました。ともに稚内信用金庫のイメージを代表するものです。

金融仲介機能のベンチマーク（定義、評価基準と着眼点）			(稚内信用金庫：2026年度)	
【はじめに】 信用金庫法第1条に定める「目的」が意味する金融仲介機能は、単なる資金仲介や金融サービスの提供のみにとどまることなく、地域と地域を繋ぐ役割、事業と事業を繋ぐ役割、人と人の繋がりを広げる役割など、地域社会の広範な分野に関与する責任を担う社会基盤的存在であり続けている。 稚内信用金庫は1961年に制定された〈信条〉の下、地域社会の発展に寄与すべくお客さまとの信頼関係醸成に努めてきたが、それを可能にしうる最も重要な基礎的要件は、地域社会の一員たる役職員の資質向上と満足度向上にこそあると位置付け、あらためて金融仲介機能のベンチマークを以下に示す。				
	〈 信 条 〉	ベンチマーク（評価基準項目）		理事長の着眼点
前文	稚内信用金庫は地元と共に繁栄します	① 職場外の社会活動団体に参画している延べ役員数		地域へのコミットメントコストを可能な限り負担しているか
		② 主たる営業地区における預金と貸出金の市場占有率		
		③ 役員総数の内、主たる営業地区内出身者の構成比		地域の雇用機会提供と深い地域密着体制を維持できているか
一、	勇気と矜りをもって限りなき進歩を、 そして発展を	④ 次世代の経営者を育成する「てっぺん塾」受講者数		地域の将来を担う経営者の育成に日常的な努力をしているか
		⑤ 常務会メンバー主催懇談会の実施時間と参加職員数		役職員の資質向上に組織的で日常的な努力を継続しているか
		⑥ Q C 活動のサークル結成数と活動参加延べ役員数		
一、	お客様には親切に、早く、正確に、 そして真の奉仕を	⑦ 融資担当者と得意先担当者の一人当たり出資会員数		事業性理解に不可欠なお客さまとの対話機会が充実しているか
		⑧ 中小企業診断士等外部専門家の相互連携組織会員数		お客さまの多様な経営課題に対処可能な体制ができているか
		⑨ 営業店舗・事務機器・職員住宅等の年間設備投資額		金融仲介機能の実効性を高める業務環境が整備されているか
一、	従業員には安定した生活を、 そして幸福を	⑩ 全職員の内、継続雇用も含む非正規雇用の構成比		金融仲介機能の実効性を高める人事の安定化が図れているか
		⑪ 家族を含む役職員の健康管理関連経費の年間支出額		最も重要な無形資産である役職員の健康を良好に保っているか
		⑫ 職員一人当たり平均年間就業時間と有給休暇取得率		地域社会の様々な活動に参画する私的時間を創出しているか
		⑬ 定期性預金比率と店頭表示超金利付与の預金受入額		事業資金供給の原資として安定した資金調達ができているか
一、	会員には良質な資金の供給を、 そして公正な配当を	⑭ 法人向け当座貸越契約の承認先数と設定限度の総額		日常的な営業活動を通じた事業性理解に基づき、迅速な運転資金供給ができているか
		⑮ 手形貸付の極度扱い稟議承認先数と設定極度の総額		
		⑯ 公的助成金制度申請手続き支援の採択件数と採択額		比較的有利で多様な資金調達手段の活用を支援できているか
		⑰ 行政機関等による公的融資制度の取扱件数と実行額		
		⑱ 配当負担の無い利益剰余金の額と単体自己資本比率		過度な担保保証依存が不要な信用リスク負担の余力はあるか
一、	より強固な基礎を築くために蓄積を、 そして大きな信用を	⑲ 選任地区別総代懇談会の総代および選考委員出席数		公正な金融仲介機能を維持する実効性あるガバナンス態勢か
		⑳ 役員総数に占める職員外の理事および監事の構成比		

※主たる営業地区とは、稚内市を含む宗谷総合振興局管内、天塩町、遠別町、雄武町です。

金融仲介機能のベンチマーク（直近3期データと自己評価）					（稚内信用金庫：2026.06.04）	
ベンチマーク（評価基準項目）					2025(令和7)年度	自己評価（理事長の見解と課題）
2023(令和5)年度					2024(令和6)年度	感染症不安鎮静化で社会活動が活性化、意欲的な姿勢を評価！ 短期政策金利の引き上げに伴う金利上昇で融資が激化する中、営業店の努力で高水準の占有率を維持できているが、事業所数減少や人口減少に伴う地域の持続可能性低下に歯止めをかけるべく、各自治体との連携態勢強化が重要な課題 主たる営業地区の生活環境を体感している職員の構成比は維持！ 愛媛県今治市と松山市への視察研修や、旭川地区営業本部でのセミナー複数開催等、若い経営者の意欲的な取り組みを高く評価！ リアルでの面談機会に加えインターネット（Desket"NEO）を活用、庫内での情報の非対称性顕在化を回避する態勢整備に課題 品質管理（金融機関においては役職員の資質向上）が主題である活動趣旨の庫内共有に課題 職員数減少で金融サービスの質が低下しないよう、営業戦略センターを中心とする本部と営業店との連携態勢強化や職員個々の力量向上に課題 国家資格を有する土業各分野の専門家との連携体制を強化し、より実効性ある相談業務の態勢整備が課題 建設コストの高騰をふまえ、当面は事務機器類の更新投資が中心 正規雇用率100%まであと一歩、地域の雇用安定化に貢献！ 簡易がん検査キットの導入で早期発見早期治療の好事例あり！ 1800時間未満を6年連続で達成、課題であった管理監督職の年間就業時間も2397時間から2276時間に大幅改善！ 感染症関連等の特別休暇付与も含めた実質の取得率は83%超！ 高い水準は維持できているが金利上昇期のコア預金確保に課題 大口寄付を原資とする自治体の奨学金制度を支援する1件のみ 当座貸越中心の經常運転資金需要対応は着実に増加、取引先事業者の資金繰り安定化に寄与している！ 行政機関との連携態勢が機能し、着実に取扱い実績を積み上げている！ 堅実に利益剰余金を積み増し、地域へのコミットメントコストを負担しうる資本力は高水準を維持できている！ 全地区で理事長主催総代懇談会開催、総代および総代候補者選考委員に関係自治体の首長も招いたリアル面談は貴重な機会！ 2026/6改選後も職員外理事3名と会員外監事2名体制を継続予定
2023(令和5)年度					2024(令和6)年度	
①	職場外の社会活動団体に参画している延べ役員数	延べ1,566名	延べ1,764名	延べ1,666名	延べ1,666名	
②	主たる営業地区における市場占有率（預金）	81.9%	82.0%	81.5%	81.5%	
	主たる営業地区における市場占有率（貸出金）	49.3%	50.5%	49.8%	49.8%	
③	役員員総数の内、主たる営業地区区内出身者の構成比	65.4%	65.4%	66.7%	66.7%	
④	次世代の経営者を育成する「てっぺん塾」受講者数	11期 延べ69名	12期 延べ319名	13上期 延べ125名	13上期 延べ125名	
⑤	常務会メンバー主催懇談会の実施時間と参加職員数	279時間 延べ1,352名	297時間 延べ1,390名	292時間 延べ1,237名	292時間 延べ1,237名	
⑥	QC活動のサークル結成数と活動参加延べ役員数	22サークル 延べ227名	22サークル 延べ216名	20サークル 延べ189名	20サークル 延べ189名	
⑦	融資担当者一人当り出資会員数	240会員	214会員	271会員	271会員	
	得意先担当者一人当り出資会員数	201会員	204会員	221会員	221会員	
⑧	中小企業診断士等外部専門家の相互連携組織会員数	61名 相談12件	68名 相談19件	74名 相談10件	74名 相談10件	
⑨	営業店舗・事務機器・職員住宅等の年間設備投資額	581百万円	270百万円	172百万円	172百万円	
⑩	全職員の内、継続雇用も含む非正規雇用者の構成比	4.1%	1.6%	0.4%	0.4%	
⑪	家族を含む役員職員の健康管理関連経費の年間支出額	93百万円	100百万円	104百万円	104百万円	
⑫	職員一人当り平均年間就業時間（管理監督職を除く）	1789時間	1799時間	1766時間	1766時間	
	職員一人当り平均有給休暇取得率	69.0%	67.1%	70.4%	70.4%	
⑬	定期性預金比率（期中平均）	59.4%	58.6%	57.9%	57.9%	
	店頭表示超金利付与の預金受入額（先数と期末残高）	1先 5億円	1先 5億円	1先 5億円	1先 5億円	
⑭	法人向け当座貸越契約の承認先数と設定限度の総額	80先 119億円	97先 129億円	104先 145億円	104先 145億円	
⑮	手形貸付の極度扱い稟議承認先数と設定極度の総額	14先 17億円	14先 18億円	14先 18億円	14先 18億円	
⑯	公的助成金制度申請手続き支援の採択件数と採択額	43件 97百万円	47件 64百万円	39件 95百万円	39件 95百万円	
⑰	行政機関等による公的融資制度の取扱件数と実行額	367件 39億円	387件 43億円	365件 42億円	365件 42億円	
⑱	配当負担の無い利益剰余金の額	525億円	533億円	538億円	538億円	
	単体自己資本比率	59.63%	61.86%	64.43%	64.43%	
⑲	選任地区別総代懇談会の総代および選考委員出席数	86名	86名	82名	82名	
⑳	役員総数に占める職員外の理事および監事の構成比	31%(4名/13名)	38%(5名/13名)	33%(5名/15名)	33%(5名/15名)	

※主たる営業地区とは、稚内市を含む宗谷総合振興局管内、天塩町、遠別町、雄武町です。

ZoomUP 人財

「働きがい」や「働きやすさ」を感じられる職場を目指して日々取り組んでいます。

職員の内訳

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
職員数	258名	243名	244名	254名	245名
うち男性職員数	155名	140名	140名	141名	130名
うち女性職員数	103名	103名	104名	113名	115名
うち女性管理職	12名	13名	14名	18名	21名
うち非正規職員数	11名	11名	10名	4名	1名
総職員に占める非正規職員の割合	4.2%	4.5%	4.0%	1.6%	0.4%
平均年齢	38歳0ヵ月	39歳5ヵ月	39歳7ヵ月	40歳7ヵ月	40歳8ヵ月
うち男性職員	44歳1ヵ月	45歳2ヵ月	45歳7ヵ月	46歳3ヵ月	46歳7ヵ月
うち女性職員	29歳8ヵ月	30歳3ヵ月	29歳9ヵ月	33歳1ヵ月	33歳6ヵ月
新卒採用者数	18名	9名	14名	10名	11名
うち大学・短大卒人数	8名	5名	6名	7名	3名
うち高校卒人数	10名	4名	8名	3名	8名
中途退職者数	15名	20名	10名	8名	17名
中途退職者の平均勤続年数	6年2ヵ月	7年4ヵ月	7年4ヵ月	9年6ヵ月	15年0ヵ月

〈2025年度 年代別役職者数〉

役職	60代	50代	40代	30代	合計
調査役、支店長代理、主任調査役	1名 (0名)	9名 (4名)	18名 (9名)	15名 (6名)	43名 (19名)
次長、部長代理、副部長	3名 (1名)	17名 (1名)	20名 (0名)	0名 (0名)	40名 (2名)
部長、営業店長	5名 (0名)	19名 (0名)	7名 (0名)	0名 (0名)	31名 (0名)
合計	9名 (1名)	45名 (5名)	45名 (9名)	15名 (6名)	114名 (21名)

※役職のうち管理監督職(監督もしくは管理の地位にある者)は、次長、部長代理、副部長、部長、営業店長です。

(うち女性職員)

就業時間

〈実質就業時間〉

実際に就業した時間です。

	2023年度	2024年度	2025年度
実質就業時間	1978時間	2003時間	1932時間
うち管理監督職	2344時間	2397時間	2276時間
うち一般職	1789時間	1799時間	1766時間

〈時間外勤務時間〉

	2023年度	2024年度	2025年度
一人当たり時間外勤務時間(年間)	25時間31分	31時間33分	24時間56分

休暇制度

特別休暇、育児・介護休業等があります。

	2023年度	2024年度	2025年度
有給休暇取得率	69.0%	67.1%	70.4%
特別休暇を含む実質有給休暇取得率	86.4%	77.1%	83.0%
育児休業対象職員(男性:女性)	7名 (5名:2名)	11名 (5名:6名)	10名 (5名:5名)
育児休業取得日数(男性:女性)	330日 (5日:325日)	850日 (59日:791日)	1184日 (34日:1150日)



カーリングを楽しむ職員

報酬・給与

〈役員報酬〉

	2023年度	2024年度	2025年度
役員報酬総額	理事11名 138,822千円 監事 3名 18,793千円	理事10名 126,496千円 監事 3名 18,388千円	理事12名 149,206千円 監事 3名 18,255千円

※各年度役員賞与の支給実績はありません。

〈職員給与〉

	2023年度	2024年度	2025年度
平均給与月額(3月中の平均給与月額)	384千円	382千円	382千円
実質賃金上昇率(昇進・昇格含む)	5.01%	2.89%	2.80%

教育・研修

〈教 育〉

○三位一体の若手育成制度

入庫後3年目までの職員を入庫後10年未満の職員（ミドルコーチ）と10年超の職員（スーパーコーチ）が三位一体で育成する制度です。

○資格取得制度

職員の自己啓発を促すための制度で、職員が各種資格試験に挑戦し、合格した場合、受験料・交通費を当金庫が負担し、奨励金も支給します。

※活用件数 52件（2025年度）

〈研 修〉

長期的な視野に立って計画的かつ継続的に行い、全国信用金庫協会・北海道信用金庫協会主催研修への派遣や、外部講師等による実践的な研修を行っています。



研修風景

	2023年度	2024年度	2025年度
一人当たり教育・研修関連費用	50,900円	49,452円	53,648円
研修延べ人数 延べ時間	599名 3915時間	693名 3375時間	383名 2532時間

福利厚生施設



忠和職員住宅（旭川）

〈職員住宅〉

全支店所在地に2LDK・3LDKの職員住宅を完備しています。
※人事異動に伴う引越費用は全額当金庫が負担しています。



恵比須職員住宅（稚内）



礼文職員住宅

その他の人事制度

〈限定総合職制度〉

本人の希望により、転居を伴う異動のない限定総合職に移行できる制度です（職位・資格に一定の制限があります）。
総合職への復帰も可能です。

	2023年度	2024年度	2025年度
限定総合職総数	19名（244名）	20名（254名）	26名（245名）

（総職員数）

〈再採用制度〉

当金庫の中途退職者またはパート職員等で、一定の要件を充たした方を正職員として再採用する制度です。

	2023年度	2024年度	2025年度
再採用総数	15名（244名）	17名（254名）	20名（245名）

（総職員数）

〈奨学金借換融資制度〉

職員が借り入れた奨学金の返済負担を軽減する制度です。

〈自己申告制度〉

年2回、自身の現在の状況、仕事の自己評価、今後の目標等について上司と面談を行い、職員の成長を促しています。

健康管理

役職員とその家族の健康を第一に考え、健康診断や法定感染症各種予防接種、心臓ドック等の費用を負担しています。

	2023年度	2024年度	2025年度
健康管理関連費用（家族含む）	93,346千円	100,076千円	104,243千円
一人当たり健康管理関連費用	366,062円	381,969円	408,796円
健康診断受診率	100%	100%	100%
ストレステスト受診率	99.2%	100%	100%

女性活躍推進法

女性の職業生活における活躍に関する取り組みの推進を図っています。

男女間賃金差異	60.5%（2026年3月末）
管理職に占める女性労働者の割合	18.4%（2026年3月末）
採用した労働者に占める女性労働者の割合	80.0%（2025年度）

計算式（（女性の平均年間賃金）÷（男性の平均年間賃金））×100（%）
平均勤続年数 男性 23.1年、女性 9.1年

地域貢献・トピックス

地域の文化や経済の発展等地域の皆さまに少しでもお役に立ちたいと考え、
ESG投資※1やSDGs※2が注目される以前より、様々な活動に積極的に取り組んでおります。

環境管理の国際標準規格「ISO14001」の認証を取得 (本店ビル2002年10月)

以下の方針で環境に配慮した活動を行っております。

環境基本方針

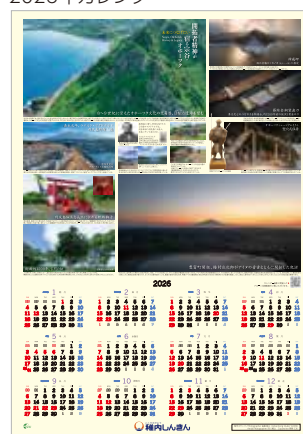
1. 環境関連法規等の遵守
2. 環境保全活動の継続と向上
3. 省資源・省エネルギーの推進と環境汚染の予防
4. 啓発活動の推進
5. 環境方針の公開



未来につなげたい宗谷をテーマとした オリジナルカレンダーの制作 (2018年～)

地域の歴史、風土、文化を見つめ直し、新たな魅力を発見・発信するツールとして活用し、関連動画も紹介しております。

2026年カレンダー



こちらからアクセスいただくか、<https://work1989.com/wakashin/>
よりカレンダーに関連した動画をご覧ください。

「道北ドクターヘリ」のスポンサー (2011年～)



・道北ドクターヘリ運航調整委員会の了承を得て掲載しております。

振り込め詐欺被害の未然防止の取組み強化

〈稚内警察署と連携〉



南支店にて

風力発電及び関連事業への融資 (2006年～)、 出資 (2014年～) を通じた参画

〈実績：92件 6,438百万円〉



鉄塔での高圧線の設置風景

ナセル(機械室)上での設備点検・保守作業

職場内コンプライアンス研修の実施

(1999年～)



規程勉強会の風景

HACCP等の衛生管理基準取得に向けた啓蒙活動や 専門家の派遣及び設備投資支援 (1998年～)

・衛生管理体制構築のための専門家派遣
(2021年度～)

9社 延べ39回実施

・衛生管理面強化のための設備投資実績
〈1件 40百万円〉

HACCP認証のための視察の様子



※1 ESGとは、「Environment (環境)」、「Social (社会)」、「Governance (企業統治)」の3つの頭文字をとったもので、各分野への適切な対応が企業の長期的成長の原動力となり、最終的には持続可能な社会の形成に役立つことを示した投資の判断基準の一つです。

第15回しんきんフェスタの開催

地域の皆さまとの関わりをより一層深め、ますます身近な金融機関を目指すために、2025年9月28日に本店ビルで施設見学等を開催しました。

イベント来場数 約1,200名



3億円体験



窓口体験



ワークショップ



硬貨包装機・紙幣結束機の見学

第41回 札幌交響楽団稚内定期公演の開催

(1985年～)

稚内総合文化センター



稚内総合文化センター 来場者約600名 (2026年6月13日)

- 1995 (平成7) 年11月 「メセナ大賞95 (メセナ地域賞)」受賞
- 1999 (平成11) 年6月 第2回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」受賞

金銭教育の実施

(2009年～)

〈延べ19校：968名受講〉

稚内市立稚内南小学校
(2026年2月4日)



金融教育の実施

(2022年～)

※当金庫職員が講師を務めて実施

稚内市立稚内中学校
(2026年2月13日)



稚内市立宗谷中学校の産業教育事業へのサポート

(2021年～)

1968年から基幹産業である水産業の担い手の育成と産業振興のために実施している産業教育事業をサポート



中学生によるホタテ殻むき実習



産業教育のサポートとして、当金庫職員による金融教育を実施

年金相談会 (随時開催)



社会保険労務士
年金コンサルタント

山田 繁春氏

ウィンターフェス2026の開催 (1988年～)

稚内会場 (第36回)

稚内市こまどりスキー場
(2026年1月18日)

稚内市みどりスポーツパーク
(2026年2月1日)

枝幸会場 (第34回)

枝幸三笠山スキー場
(2026年2月8日)



○2006 (平成18) 年6月 第9回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」受賞

※2 SDGs (持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

南支店ビル「みなくる」*でのイベント開催

南支店ビル「みなくる」1階イベントスペースでは、多くの皆さまに親んでもらえるよう、様々なイベントを開催しております。ぜひ、みなさまのご来店をお待ちしております。

※「みなくる」は南支店ビルの愛称です。



アートフラワー展



(有)沢野豆腐店 販売会

地域の環境整備活動への参加

稚内市役所職員との合同清掃活動
(2026年5月22日)



コミュニティ誌「ジャスト・ナウ」の発行

宗谷をはじめとする地元を再発見する企画や中小企業をフォーカスするコーナー、地域住民の趣味や特技にスポットを当てるコーナー、管内の交番勤務のおまわりさんや教育関係者の皆さまを紹介するなど、地域の情報が盛りだくさんです。



○2017年6月 第20回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」受賞

「職場見学」を実施

金融の仕事、そして稚内信用金庫を知っていただけるよう、小中学生を対象とした職場見学を実施しております。



枝幸支店



信用金庫間ネットワークを活用した取り組み①

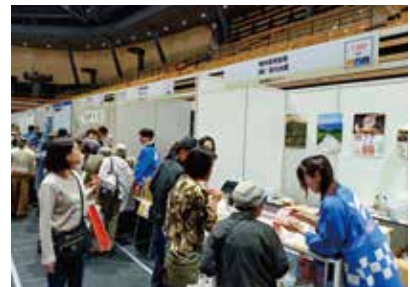
全国254金庫の信用金庫間ネットワークを活用したお取引先の商品開発・販路拡大への取り組みを積極的に行っています。



○2025年9月13日～15日「駅マルシェ2025」へ出店

(旭川市：駅マルシェ実行委員会 主催)

出店8社 (瀬戸漁業(株)、(株)シーグレイセス、(有)丸信高田屋、(有)小林食品、(株)川島旅館、
(株)宇野牧場、炭焼鳥てつ、(有)珈々豆屋)



○2025年10月17日

「さわやか信用金庫物産展」へ出店
(東京都：さわやか信用金庫 主催)

出店3社 (株)吉川水産、(株)こしん、
(株)シーグレイセス)

信用金庫間ネットワークを活用した取り組み② (相互交流)

西尾信用金庫様 (愛知県) の営業エリアへ、当金庫のお客様総勢90名で3泊4日のツアーを催行。
(2025年12月)



西尾信用金庫様 (愛知県) のお客様総勢約60名が2泊3日のツアーで稚内・利尻・礼文を来訪。
(2023年8月)



お客さまとの相互交流

～会員や地域の皆さまと様々な意見交換を行っております。～

てっぺん塾

2012年10月、地域経済の将来を担う若手経営者および後継者を対象とした「てっぺん塾」を立ち上げました。

この塾では、セミナー、研修会、情報交換会、他地区への産業（企業）視察、他信用金庫経営者の会との相互交流会等の活動を通じて、塾生自らが目指す経営者像を「てっぺん」に位置付け、各々の「てっぺん」を目指しています。

なお、2013年10月には「てっぺん塾」卒業生を対象とした「てっぺん倶楽部」も発足しております。

講演・セミナー

- 2025年11月28日 [旭川地区]
○旭川市立大学 新学部
「地域創造学部について」
○DX活用セミナー

- 2025年12月18日
前北海道開発局長を招いての講演
及び意見交換会

- 2026年3月16日
官民連携で生み出す地域の賑わいセミナー



●てっぺん塾 第十三期 カリキュラム

塾生数168名（2026年6月末）

カテゴリー	開催日	テーマ	講師等（敬称略）	参加数
ゼミナール （双方向の 質疑応答＆ 意見交換方式）	2025.12.22	総会	収支決算報告、事業計画等	26名
	2025.9.10～ 9.11	次世代トップリーダー研修 ～わが社の進むべき道を定め、 行動できるリーダーを目指す～	講師 ビジネス・コア・コンサルティング 代表 坂本 篤彦氏 共催 中小企業大学校旭川校	8名
	2025.11.28 [旭川地区]	旭川市立大学 新学部 地域創造 学部の概要について ～文理の融合の人材養成・ デザイン思考・地域課題への 取り組み～	講師 旭川市立大学新学部設置準備室長 教授 須田 孝徳氏	25名
	同上	DX活用セミナー	講師 旭川市立大学新学部設置準備室 准教授 川原 潤也氏	同上
	2025.12.18	前北海道開発局長を招いての 講演及び意見交換会 ※主催 宗谷シーニック パイウェイルート 運営代表者会議 共催 てっぺん塾	前北海道開発局長 坂場 武彦氏	38名
	2026.3.16	官民連携で生み出す地域の 賑わいセミナー	株式会社とける 代表取締役 柴田 涼平氏	28名

※参加者数には職員を含んでいます。

様々な意見交流の場 会員やお客さまと様々な意見交換を行っております。 (2026年6月末)

地区	名称	会員数等	発足年月
稚内	稚内しんきん てっぺん土業の会	20名	2018年 4月
	稚内FTC ※1	10名	—
札幌	稚内クラブ	110名	1976年 4月
	稚内FTC札幌会 ※2	72名	1999年11月
	札幌地区てっぺん土族の会	29名	2011年11月
	てっぺん札幌経営者の会	67名	2013年11月
旭川	旭川「ふるさと稚内会」	51名	2009年 4月
	旭川地区土の会	24名	2013年 7月
	Eagle会（鶴高組 主宰）	17事業所	2014年12月
雄武	雄武NGC	26名	2019年 2月
礼文	礼文島の未来を語る会	20名	2024年 2月



- 2025年12月22日
てっぺん塾総会
視察報告

※1 稚内FTC

宗谷総合振興局長、稚内開発建設部長、稚内警察署長、航空自衛隊稚内分屯基地司令、稚内海上保安部長、稚内空港事務所稚内空港長、稚内空港事業所長、稚内市長、稚内商工会議所会頭、稚内信用金庫理事長で構成し、地域の危機管理ネットワークをテーマに定期的に意見交換を行っております。

※2 稚内FTC札幌会

稚内FTCのOB同窓会的活動を行っております。

経営内容のポイント

経営の健全性・安全性を高め、経営体質の維持向上を図っております！

自己資本のポイント

日々練習を積み重ねているから、
どんな場面でも対応できます。



- 宗谷ジュニアカーリングチャンピオンシップ
(2026年7月4日～5日開催)
- 北海道カーリングツアー
稚内みどり CHALLENGE CUP 2026
(2026年8月27日～30日開催予定)
- 会場／稚内市
みどりスポーツパーク

自己資本の額
53,484百万円

過去からの利益を積み上げた
配当負担のない内部留保の
大きさが強みです。

利益剰余金の額
(内部留保)

53,896百万円
97.4%

内訳

特別積立金
52,000百万円

繰越金
(当期末残高)
1,314百万円

利益準備金 **582**百万円

出資金
582百万円 **1.0%**
一般貸倒引当金の
資本算入額
819百万円 **1.4%**

※利益剰余金の額は、剰余金処分後の「特別積立金」・「繰越金(当期末残高)」・「利益準備金」の合計です。
※自己資本の額は、利益剰余金の額から「無形固定資産額」・「前払年金費用の額」を控除しています。

不良債権のポイント

氷上の状態とストーンの滑りを見極める
リザーブがいるから、チームメイトも
安心して試合に臨めます。



貸出金のほとんどが正常債権です。
しかも不良債権に対する
備えは万全です。

正常債権
95.4%
77,003百万円

万一の時も
常に安心！

不良債権 **4.5%**
3,703百万円

内訳

要管理
債権額
56
百万円

危険
債権額
2,689
百万円

破産更生等
債権額
957
百万円

貸倒引当金 **1,684**百万円

不良債権に
対する備え
57,025百万円

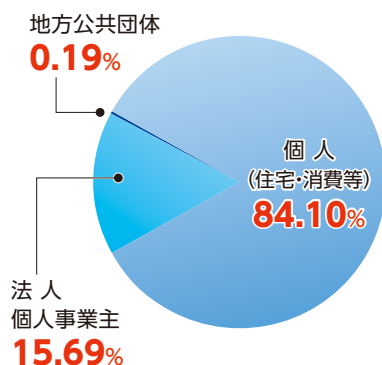
自己資本の額
53,484
百万円

14倍以上
の備えが
あります。

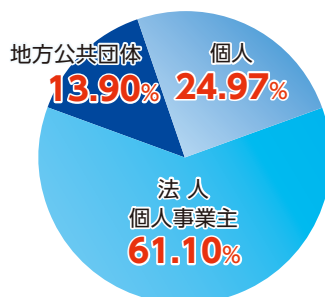
担保・保証付等
1,856百万円

貸出金のポイント (2026年3月末)

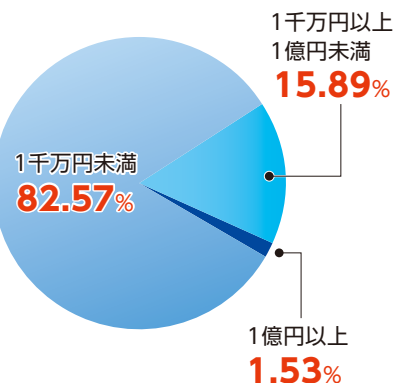
人格別先数構成比



人格別残高構成比



金額段階別先数構成比



有価証券のポイント (2026年3月末)

有価証券の種類別残高と信用リスク・アセットの額

単位：百万円

国債	301,803 (0)	その他社債	40 (40)
地方債	0 (0)	株式	531 (691)
政府保証債	381 (0)	外国証券	5,217 (0)
金融債	2,400 (480)	その他の証券	880 (880)

※有価証券の残高は取得原価又は償却原価額で表示しております。

※() 内は信用リスク・アセットの額です。

※リスク・アセットとはリスクを有する資産を、リスクの大きさに応じて掛け目を乗じ、再評価した資産金額です。

信用リスク・アセットの額
2,092百万円



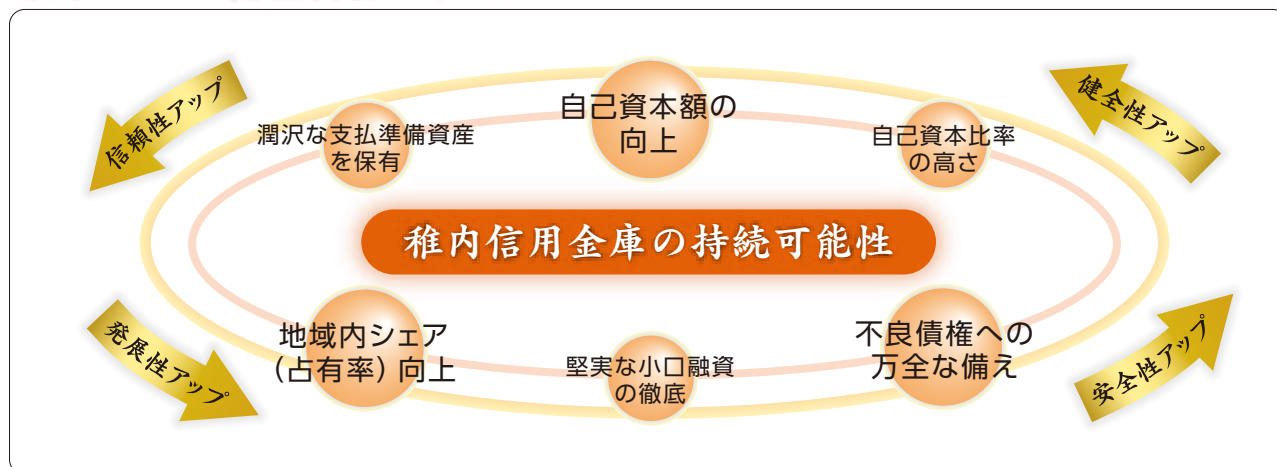
○金融債はすべて信用力の高い信金中金債です。

○その他社債はすべて健全性が高い取引先企業が発行する私募債です。

○外国証券はすべて米国債です。

○その他の証券の大部分は信金中金優先出資証券です。

稚内しんきん経営安全サイクル



格付けについて

第三者の権威ある格付機関である株式会社日本格付研究所 (JCR) より、長期発行体格付「A-」の評価を得ております。

※長期発行体とは、企業の包括的な債務返済能力を示します。



[A-] (シングルAマイナス)

高水準の格付けを
維持しています。

〈定義〉

「債務履行の確実性は高い」



自己資本

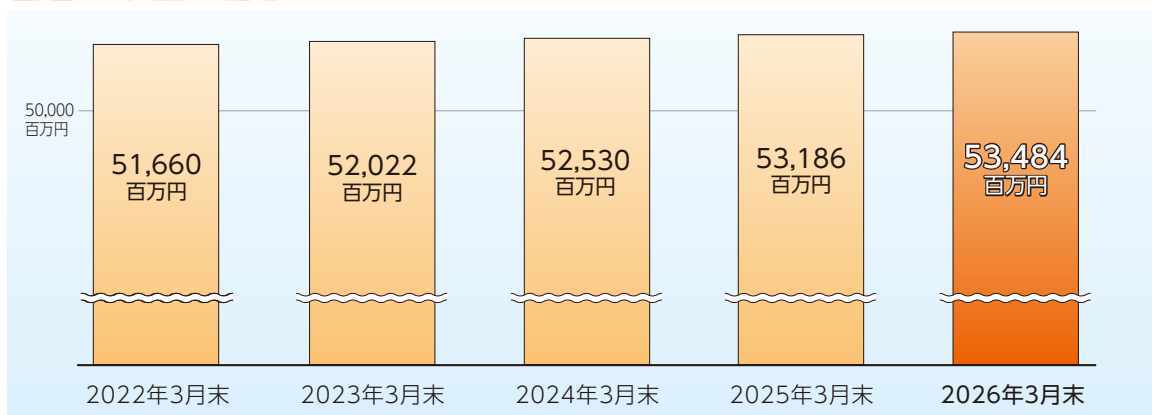
稚内しんきんの自己資本比率は**64.43%**となっています!!

「自己資本比率」は、金融機関の健全な体質を示す指標です。

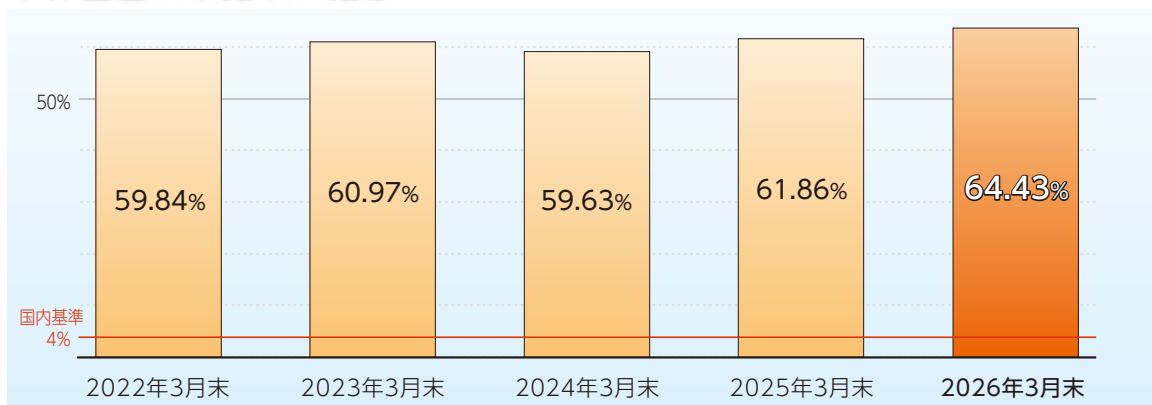
信用金庫の自己資本比率は国内基準で4%以上でなければならないとされていますが、**2026年3月末の自己資本比率は64.43%で基準の16倍を超え**引き続き高水準を維持しております。

自己資本比率が高いのは、業容を拡大していく過程で、利益の中から将来のために、コツコツと自己資本を積み上げてきた結果によるものです。

自己資本額の推移



単体自己資本比率の推移 (国内基準)



単体自己資本の算出・開示に関する注記事項

単体自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第21号)に基づき算出・開示しており、稚内信用金庫は国内基準を採用しております。

自己資本調達手段の概要

自己資本は、出資金及び利益剰余金等により構成されております。

なお、自己資本調達手段は普通出資(発行主体:稚内信用金庫)のみであり、**コア資本に係る基礎項目の額に算入された額は582百万円**となります。

特別積立金

金融機関の健全性は配当負担のない特別積立金の額も重要です。

2026年3月末の**特別積立金**は**520億円**となっており、健全な体質を堅持しております。

○リスク・アセット等に対する特別積立金の比率 [62.65%]

○総資産に対する特別積立金の比率 [11.08%]

単体自己資本比率（国内基準）・自己資本の構成に関する開示事項

（単位：百万円）

項 目	2024年度	2025年度
コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 (1)		
普 通 出 資 又 は 非 累 積 的 永 久 優 先 出 資 に 係 る 会 員 勘 定 の 額	53,907	54,478
う ち 、 出 資 金 及 び 資 本 剰 余 金 の 額	586	582
う ち 、 利 益 剰 余 金 の 額	53,338	53,913
う ち 、 外 部 流 出 予 定 額 (△)	17	17
う ち 、 上 記 以 外 に 該 当 す る も の の 額	△ 0	－
コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 の 額 に 算 入 さ れ る 引 当 金 の 合 計 額	982	819
う ち 、 一 般 貸 倒 引 当 金 コ ア 資 本 算 入 額	982	819
う ち 、 適 格 引 当 金 コ ア 資 本 算 入 額	－	－
適 格 旧 資 本 調 達 手 段 の 額 の う ち 、 コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 の 額 に 含 ま れ る 額	－	－
公 的 機 関 に よ る 資 本 の 増 強 に 関 す る 措 置 を 通 じ て 発 行 さ れ た 資 本 調 達 手 段 の 額 の う ち 、	－	－
コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 の 額 に 含 ま れ る 額	－	－
土 地 再 評 価 額 と 再 評 価 直 前 の 帳 簿 価 額 の 差 額 の 四 十 五 パ ー セ ン ト に 相 当 す る	－	－
額 の う ち 、 コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 の 額 に 含 ま れ る 額	－	－
コ ア 資 本 に 係 る 基 礎 項 目 の 額 (イ)	54,890	55,297
コ ア 資 本 に 係 る 調 整 項 目 (2)		
無 形 固 定 資 産 (モ ー ゲ ー ジ ・ サ ー ビ シ ン グ ・	150	176
ラ イ ツ に 係 る も の を 除 く 。) の 額 の 合 計 額		
う ち 、 の れ ん に 係 る も の の 額	－	－
う ち 、 の れ ん 及 び モ ー ゲ ー ジ ・ サ ー ビ シ ン グ ・ ラ イ ツ に 係 る も の 以 外 の 額	150	176
繰 延 税 金 資 産 (一 時 差 異 に 係 る も の を 除 く 。) の 額	－	－
適 格 引 当 金 不 足 額	－	－
証 券 化 取 引 に 伴 い 増 加 し た 自 己 資 本 に 相 当 す る 額	－	－
負 債 の 時 価 評 価 に よ り 生 じ た 時 価 評 価 差 額 で あ っ て 自 己 資 本 に 算 入 さ れ る 額	－	－
前 払 年 金 費 用 の 額	1,553	1,636
自 己 保 有 普 通 出 資 等 (純 資 産 の 部 に 計 上 さ れ る も の を 除 く 。) の 額	－	－
意 図 的 に 保 有 し て い る 他 の 金 融 機 関 等 の 対 象 資 本 調 達 手 段 の 額	－	－
少 数 出 資 金 融 機 関 等 の 対 象 普 通 出 資 等 の 額	－	－
信 用 金 庫 連 合 会 の 対 象 普 通 出 資 等 の 額	－	－
特 定 項 目 に 係 る 十 パ ー セ ン ト 基 準 超 過 額	－	－
う ち 、 そ の 他 金 融 機 関 等 の 対 象 普 通 出 資 等 に 該 当 す る も の に 関 連 す る も の の 額	－	－
う ち 、 モ ー ゲ ー ジ ・ サ ー ビ シ ン グ ・ ラ イ ツ に 係 る	－	－
無 形 固 定 資 産 に 関 連 す る も の の 額		
う ち 、 繰 延 税 金 資 産 (一 時 差 異 に 係 る も の に 限 る 。) に 関 連 す る も の の 額	－	－
特 定 項 目 に 係 る 十 五 パ ー セ ン ト 基 準 超 過 額	－	－
う ち 、 そ の 他 金 融 機 関 等 の 対 象 普 通 出 資 等 に 該 当 す る も の に 関 連 す る も の の 額	－	－
う ち 、 モ ー ゲ ー ジ ・ サ ー ビ シ ン グ ・ ラ イ ツ に 係 る	－	－
無 形 固 定 資 産 に 関 連 す る も の の 額		
う ち 、 繰 延 税 金 資 産 (一 時 差 異 に 係 る も の に 限 る 。) に 関 連 す る も の の 額	－	－
コ ア 資 本 に 係 る 調 整 項 目 の 額 (ロ)	1,704	1,813
自 己 資 本		
自 己 資 本 の 額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	53,186	53,484
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 (3)		
信 用 リ ス ク ・ ア セ ッ ト の 額 の 合 計 額	78,621	75,733
う ち 、 経 過 措 置 に よ り リ ス ク ・ ア セ ッ ト の 額 に 算 入 さ れ る 額 の 合 計 額		
う ち 、 他 の 金 融 機 関 等 向 け エ ク ス ポ ー ジ ャ ー	－	－
う ち 、 上 記 以 外 に 該 当 す る も の の 額		
マ ー ケ ッ ト ・ リ ス ク 相 当 額 の 合 計 額 を ハ パ ー セ ン ト で 除 し て 得 た 額	－	－
オ ペ レ ー シ ョ ナ ル ・ リ ス ク 相 当 額 の 合 計 額 を ハ パ ー セ ン ト で 除 し て 得 た 額	7,348	7,265
フ ロ ア 調 整 額	－	－
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 の 額 の 合 計 額 (ニ)	85,970	82,999
自 己 資 本 比 率		
自 己 資 本 比 率 ((ハ) / (ニ))	61.86%	64.43%

※1. 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第21号)に基づき算出しております。なお、稚内信用金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

※2. リスク・アセットは、損失が発生する可能性のある資産総額です。

開示債権の状況

貸出金等に対し十分な貸倒引当金を計上し、健全性を維持しております！

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分		開示残高 (a)	保 全 額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)／(a)	引当率 (d)／(a-c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2024年度	775	775	277	498	100.00%	100.00%
	2025年度	957	957	359	597	100.00%	100.00%
危 険 債 権	2024年度	3,048	2,915	1,715	1,199	95.62%	90.00%
	2025年度	2,689	2,570	1,496	1,073	95.56%	90.00%
要 管 理 債 権	2024年度	138	100	82	18	72.62%	32.29%
	2025年度	56	13	0	13	24.22%	24.20%
三 月 以 上 延 滞 債 権	2024年度	—	—	—	—	—	—
	2025年度	—	—	—	—	—	—
貸 出 条 件 緩 和 債 権	2024年度	138	100	82	18	72.62%	32.29%
	2025年度	56	13	0	13	24.22%	24.20%
小 計 (A)	2024年度	3,963	3,792	2,076	1,716	95.68%	90.92%
	2025年度	3,703	3,541	1,856	1,684	95.62%	91.22%
正 常 債 権 (B)	2024年度	77,503					
	2025年度	77,003					
総 与 信 残 高 (A) + (B)	2024年度	81,466					
	2025年度	80,706					

※百万円未満及び小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。

(注)

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
- 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）です。

貸出金等の償却・引当基準

独自の引当基準に基づき、万が一に備えています。（※資料編 P15、P25参照）

貸出金等の資産を個別に査定（自己査定）を行い、信用リスクに応じた債務者区分（「正常先」「要注意先」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」）を決定。回収の危険性や価値の毀損度合いに応じて資産を分類し、適正な償却・引当を行うための基本事項を定め、関係法令等と合わせて運用することで資産の健全性を確保しています。

【個別貸倒引当金】

破綻先・実質破綻先については、債権額から担保の処分可能見込額や保証による回収見込額を控除し、その残額の100%を引当しています。

破綻懸念先については、債権額から担保の処分可能見込額や保証による回収見込額を控除し、その残額の90%を引当しています。

【一般貸倒引当金】

貸倒実績率に基づき、正常先については今後1年間、要注意先（その他要注意先・要管理先）については今後3年間の予想損失額を引当しています。更に要管理先については、保全不足額の20%を加算して引当しています。ただし、プロジェクトファイナンスに対する債権については、上記とは分けて引当額を算出しています。

■プロジェクトファイナンスに対する引当額

プロジェクトファイナンスの返済財源は、そのプロジェクトから得られるキャッシュフローのみという特徴があります。例えば、主要営業地区で盛んに行われている風力発電事業は、気象変動や地震等の予期できない自然災害により事業が停止した場合、返済財源であるキャッシュフローを得ることができなくなるリスクがあります。こうした将来の不確実性に備えるため、独自の基準を設け、みなし正常先およびみなし要注意先に該当する債権については、各債務者区分の貸倒実績率を参考に平均残存期間により個別に算出し、予想損失額を引当しています。

（単位：千円）

2023年度	2024年度	2025年度
341,964	263,690	201,906

■新型コロナウイルス感染症に関するプロパー特別融資制度に対する引当額

2020年2月、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた事業者の資金繰りに迅速に対応するため、独自に無担保・無保証での融資制度を創設（2023年1月末で新規取扱い停止）しました。

この融資制度は通常の運転資金に比べると回収の危険性の度合いが高いことから、資産の健全性を確保しつつ積極的に資金繰りをサポートするため、貸倒実績率に基づく引当金に加えて、正常先、要注意先に対する同制度融資の残高に対し、一律20%の一般貸倒引当金を引当しています。

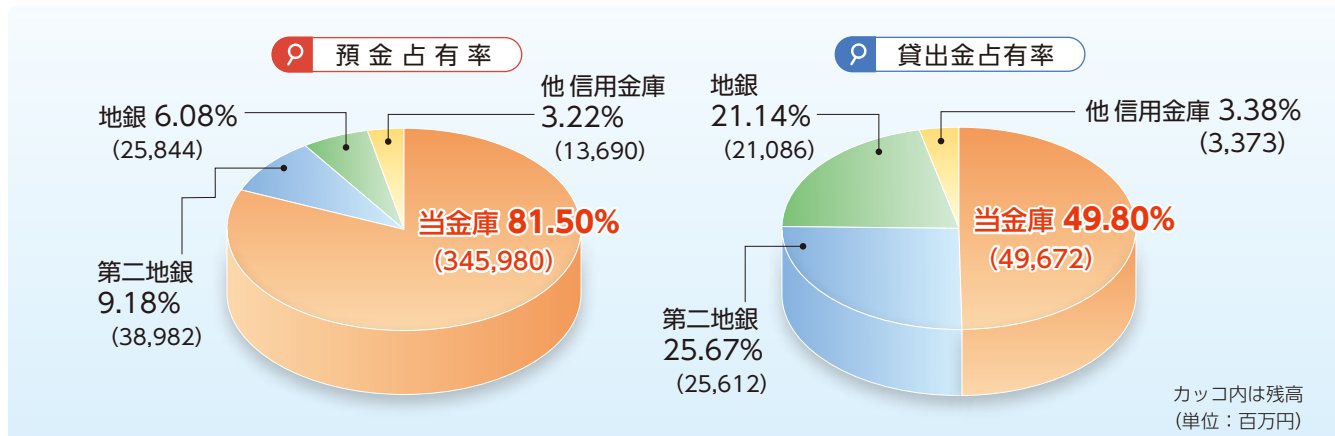
（単位：千円）

2023年度	2024年度	2025年度
117,800	103,340	83,200

市場占有率

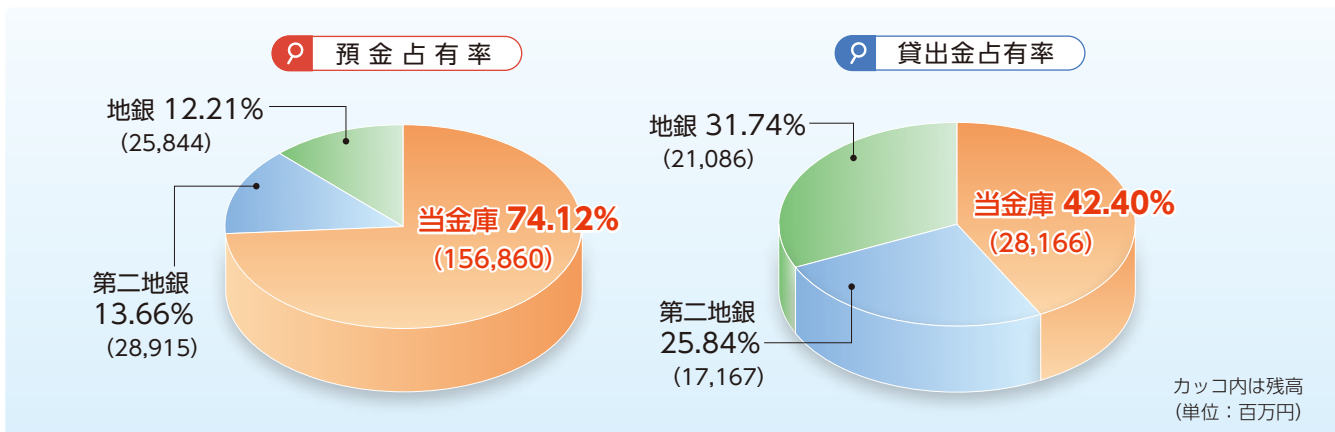
市場占有率は、地域の皆さまからの信頼の証を示す指標ともいえます。

主営業地区 (2026年3月末)



※主営業地区とは、稚内市を含む宗谷総合振興局管内、天塩町、遠別町、雄武町です。

稚内市 (2026年3月末)



稚内信用金庫融資制度の取扱状況 | 地域密着型金融の確立に向けて、取引先企業の支援強化に取り組んでおります。

地域活性化まちづくりファンド

「今がチャンス!!」、「今こそ、チャレンジ!!」、「今こそ、チャレンジ!!!」、「元気資金」、「みらい応援資金」、「みらい応援資金Ⅱ」、「みらい応援資金Ⅲ」

創業・新事業展開・事業拡大・既存設備更新等の
新成長戦略を応援します。

1,559件 417億70百万円

●2006年度から2025年度までの取扱（融資）実績

ビジネスサポート「飛躍」

中小企業と地域経済の活性化を支援します。

983件 50億3百万円

飛躍

●2005年度から2025年度までの
取扱（融資）実績

※地域活性化まちづくりファンド「今がチャンス!!」（2006年5月～2011年3月末）、「今こそ、チャレンジ!!」（2011年4月～2013年10月末）、「今こそ、チャレンジⅡ!!」（2013年11月～2016年3月末）、「元気資金」（2016年4月～2018年1月末）、「みらい応援資金」（2018年2月～2020年3月末）、「みらい応援資金Ⅱ」（2020年4月～2024年10月末）は、各々募集総額50億円（「みらい応援資金Ⅱ」は100億円）に達したことから取扱いを終了しましたが、引き続き地域経済の活性化に資するため、2024年11月に「みらい応援資金Ⅲ」を創設しました。

総代会機能

信用金庫の特性について

■ 協同組織とは

協同組織の金融機関である信用金庫は、地域の皆さまが利用者・会員となって互いに地域の繁栄を図る相互扶助の理念に基づき、限られた地域で金融サービスを提供する地域に根ざした金融機関であります。

株式会社である銀行が、収益面では株主の利益が優先されるのに対し、信用金庫は会員の利益が優先されます。また、協同組織は基本的に人的結合体としての性格もあり、地域の会員外の皆さまからも資金をお預かりすることができます。

地域とは運命共同体的な関係にあり、地域全体への貢献が強く求められ、豊かな地域社会を実現するために日々努力しております。

総代会機能について

■ 総代会制度とは

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を最大に反映させる協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて稚内信用金庫の経営に参加することとなります。しかし、稚内信用金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は難しいことから、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

総代会は、会員一人一人のご意見が稚内信用金庫の経営に反映されるよう、会員の皆さまから適正な手続きにより選任された総代によって運営され、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。

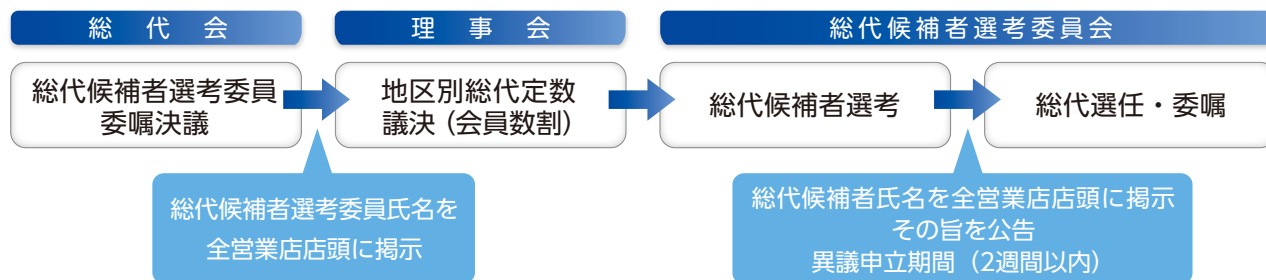
なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

■ 総代会の仕組み

稚内信用金庫の定款及び総代選任規程により、地区を4区の選任区域に分け、総代の定数は70人以上100人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定めています。なお、総代の任期は2年です。



■ 総代の選任方法 〈稚内信用金庫「定款及び総代選任規程」に基づく〉



■ 総代候補者選考基準

総代候補者は、「稚内信用金庫の会員である方」「就任時点で75歳未満の方」「総代候補者選考委員でない方」この要件を全て満たさなければなりません。

総代候補者の選考基準は次のとおりです。

- ・ 総代としてふさわしい見識を有している方
- ・ 地域の事情に明るく、良識をもって正しい判断ができる方
- ・ 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方
- ・ その他総代候補者選考委員が適格と認めた方

■第90回（2026年度）通常総代会

■開催日 2026年6月17日(水)

次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認・可決となりました。

■報告事項

- 第82期業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容について
- 不良債権の内容について
- 2026年度事業計画（見通し）について

■決議事項

- 第1号議案：第82期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案：所在不明会員の除名の件
- 第3号議案：任期満了に伴う理事及び監事選任の件
- 第4号議案：退任役員に対する退職慰労金贈呈の件



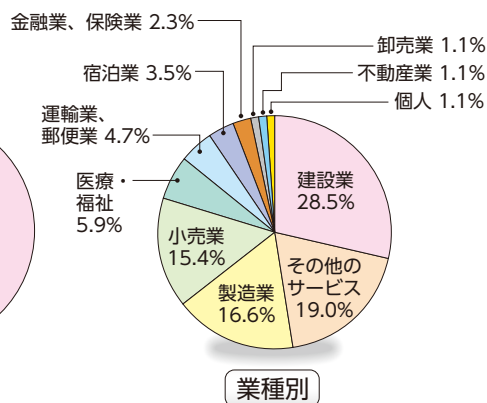
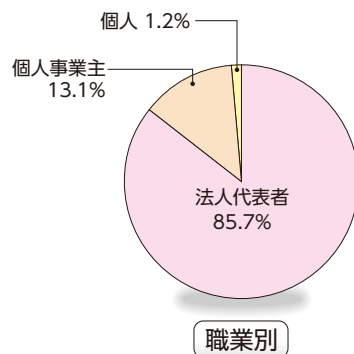
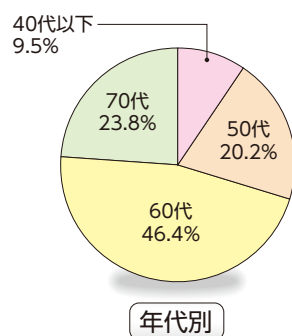
■総代候補者選考委員の氏名・業種等

2026年7月10日現在・敬称略（五十音順）

地区	選任区域	氏名	経営している企業名等	業種
第1区	稚内市全域	秋元 正智	(株)うろこ市	水産食料品製造業
		今村 幸一	協同組合稚内とみおか商店会	商店会
		坂野 泰雄	坂野鉄工(株)	建築金物製造業
		達 英二	(前 稚内商工会議所 専務理事)	個人
第2区	猿払村、 浜頓別町、 中頓別町、 枝幸町、 雄武町、 興部町、 西興部村、 豊富町、 幌延町、 天塩町、 遠別町、 利尻富士町、 利尻町、 礼文町、 全域	近江谷 春夫	雄武町代表監査委員	個人
		尾形 仁将	(有)ファッションドライオガタ	クリーニング業
		中川原 潔	(株)ファーマシーサエキ	医薬品・化粧品小売業
		丹羽 隆則	(前 (社)浜頓別福祉会 理事)	個人
		野崎 浩宜	(前 天塩町副町長)	個人
		萩谷 泰夫	(有)萩谷自動車整備工場	自動車整備業
		譜久元 博行	安田商事(株)	石油製品小売業
		藤田 敏春	(株)総建	電気工事業
		三浦 高志	つなぎ処えん	飲食業
		村山 義明	北碓石油(株)	石油製品小売業
		矢田 政人	(前 光壽寺 住職)	僧侶
第3区	名寄市、士別市、 旭川市、深川市、 滝川市、砂川市、 美瑛市、 及びその周辺の 営業管内町村全域	猪狩 正文	坂上司法書士合同事務所	司法書士・行政書士
		鈴木 敏治	(有)三広堂	専門・技術サービス業
		刀根 英二	(前 なかせき商事(株) 会長)	個人
		能任 利明	能任利明税理士事務所	税理士
第4区	岩見沢市、江別市、 札幌市、小樽市、 恵庭市、千歳市、 北広島市、石狩市、 及びその周辺の 営業管内町村全域	中藪 則喜	(有)中藪建築工房	建築設計・監理業
		永井 豊	(前 (株)通電技術 参与)	個人
		藤野 光生	医療法人讃生会 北野病院	医師
		丸尾 正美	丸尾法律事務所	弁護士

任期：2025年6月10日から第91回通常総代会開催日まで

■総代の属性別構成比



■総代の氏名・就任回数・業種等

2026年7月10日現在・敬称略（五十音順）

地区	選任区域	人数	氏名・就任回数・経営している企業名等
第1区	稚内市全域	36	秋川 満^⑫ 秋元 哲哉^③ 伊坂 雅行^⑤ 石塚 英資^⑥ 秋川水産(株) (水産食料品製造業) (株)うろこ市 (水産食料品製造業) クリニックはぐ (医師) 石塚建設興業(株) (総合建設業) 伊戸川成史^⑥ 今村 仁泰^② 岩田 達也^⑤ 遠藤 章広^⑧ (有)伊戸川商会 (新聞販売業) (株)秋見総合食品センター (食料品小売業) (株)栄アルミ (鋼製建具・アルミ工事業) (株)氷雪観光 (宿泊業) 岡田 清一^⑤ 貝森 貴博^② 貝森 好文^⑤ 木越 将雄^⑫ (株)保険のなかせき (保険代理店業) 錦産業(株) (建設業) 古川自動車工業(株) (自動車整備業) (株)木越商店 (食料品小売業) 小鹿 卓司^⑥ 小林 泰弘^① 佐々木正明^⑩ 佐藤 国房^⑥ (有)御菓子司小鹿 (菓子製造販売業) (株)山大小林商店 (水産食料品製造業) (株)ササキ (建設業) (株)佐藤組 (建設業) 佐藤 浩平^③ 澤村 勝幸^⑥ 神 誠二^⑥ 杉川 毅^⑥ 藤コンクリート(株) (セメント製品製造業) 保険サービス(株) (保険代理店業) たつみ食品(株) (水産食料品製造業) 稚内印刷(株) (印刷物製造業) 副島 隆^⑥ 高橋 淳一^⑥ 竹田 教峰^⑧ 谷原 一郎^⑧ (株)そえじま工具 (建設資材販売業) (株)稚内衛生公社 (廃棄物処理業) 禅徳寺 (住職) (株)丸北北海組 (水産食料品製造業) 富田 伸司^⑬ 土門 哲也^⑫ 中場 直見^⑥ 中山 亮^⑤ (株)富田組 (建設業) カネタメ水産(株) (水産業) 宗谷バス(株) (旅客運送業) (有)稚内通信設備 (電気通信工事業) 西森 靖之^⑪ 藤田 幸洋^⑬ 古井 健司^⑥ 前 仁^② (株)共成建設 (建設業) 藤建設(株) (総合建設業) 北の杜法律事務所 (弁護士) 北都道路(株) (舗装工事業) 宮本 宜之^⑥ 山本 泰照^⑦ 吉川 勝^⑪ 吉田 幸麿^⑫ 丸共水産(株) (水産食料品製造業) 北門神社 (宮司) (株)北友ストア (食料品小売業) 量徳寺 (住職)
第2区	猿払村、 浜頓別町、 中頓別町、 枝幸町、 雄武町、 興部町、 西興部村、 豊富町、 幌延町、 天塩町、 遠別町、 利尻富士町、 利尻町、 礼文町、 全域	26	梅津 秀人^⑪ 小山内賢一^④ 小山内浩一^⑧ 鹿兒島 真^③ 梅津電気(株) (電気工事業) 巽冷凍食品(株) (水産食料品製造業) 小山内建設(株) (建設業) 鹿兒島建設(株) (建設業) 加藤 亜紀^① 河村 洋^⑥ 木下 洋^⑥ 久保 元^⑪ (株)はなまる (生花小売業) 井手上建設(株) (建設業) (有)木下商店 (家具販売業) 日東建設(株) (建設業) 小神 久^⑧ 佐藤 吉郎^⑥ 高橋 秀之^⑥ 田中 太一^⑤ 利尻自工(株) (自動車整備業) (株)佐藤商店 (建築材料卸売業) (株)高橋建設 (建設業) 田中建設(株) (建設業) 寺澤 尚哉^⑧ 中瀬 薫^⑥ 中田 豊喜^⑦ 丹羽 幹典^⑬ (株)寺沢組 (建設業) (有)ホテルあや瀬 (宿泊業) (株)利尻生コン (コンクリート製品製造業) 丹羽建設(株) (建設業) 橋詰 啓史^⑥ 畑宮 宗聡^① 浜口 隆^⑥ 平井 祐輔^① 雄武レミコン(株) (セメント製品製造業) 畑宮食品(株) (水産食料品製造業) (有)浜口電気商会 (電気工事業) 天北運送(株) (運送業) 細谷 武昭^① 宮本 栄^⑪ 守谷 一彦^⑬ 安田 最次^⑩ 細谷建設(株) (建設業) (株)道北物流 (運輸業) 守谷建設(株) (土木工事業) 安田建設(株) (建設業) 山谷 佳広^⑪ 吉田 真人^⑤ (同)やまや (エネルギー・酒類販売業) 鹿遠産業(株) (食品添加物製造業)
第3区	名寄市、士別市、 旭川市、深川市、 滝川市、砂川市、 美瑛市、 及びその周辺の 営業管内町村全域	11	井内 敏樹^⑥ 市川 良之^⑥ 薄井タカ子^② 遠藤 穰^④ (税)中央総合会計 (税理士) (医)いかわ耳鼻咽喉科医院 (医師) (税)薄井会計 (税理士) 旭川トヨペット(株) (自動車販売業) 買手 順一^⑥ 進藤 正明^④ 高 喜久雄^⑥ 高沼 克広^① (医)クリスタル橋内科クリニック (医師) (医)shindo整形外科進藤病院 (医師) (株)高組 (建設業) 旭川ガス(株) (エネルギー販売業) 高橋 仁美^⑤ 中川 栄一^② 山崎 與吉^⑤ (株)扇松園 (宿泊業) なかせき商事(株) (石油製品販売業) 男山(株) (酒類製造業)
第4区	岩見沢市、江別市、 札幌市、小樽市、 恵庭市、千歳市、 北広島市、石狩市、 及びその周辺の 営業管内町村全域	11	池田 慎介^① 大谷 喜一^⑮ 大村 和彦^⑥ 加藤 欽也^⑤ まこまない法律事務所 (弁護士) (株)アインホールディングス (医薬品小売業) 大東ホールディングス(株) (石油製品卸売業) (株)ほくていホールディングス (運送業) 菅野 修司^① 竹田 剛^③ 中田 隆博^④ 古野 重幸^⑥ (株)ギム (不動産業) 丸水札幌中央水産(株) (卸売業) 道路工業(株) (舗装工事業) フルテック(株) (サービス業) 増田 敦^⑥ 吉田 聡子^⑤ 渡邊 克仁^⑧ (医)新札幌駅前内科循環器 (医師) 北海道クリエイティブ(株) (広告業) 北都交通(株) (運送業)
計	4 区	84名	

任期：2026年7月10日から2028年7月9日まで
(2026年4月末現在の会員数は8,411名です。)

沿革・歩み

1945年（太平洋戦争終結の年）に市街地信用組合法による「稚内信用組合」として創立され、1950年に中小企業等協同組合法による信用組合に改組し、さらに1951年に信用金庫法により「稚内信用金庫」に改組して今日に至っております。創立からの主な歩みは次のとおりです。

1945年 6月	●初代組合長に高橋善之助 就任	2002年10月	●ISO14001認証取得
10月	●稚内市本通北2丁目226番地にて営業を開始 常勤役職員5名	2003年11月	●井須理事長 『旭日小綬章』受章
1947年 6月	●第2代組合長に伊藤忠蔵 就任	2004年 6月	●井須理事長が会長に就任 第5代理事長に佐野日出勝 就任
1948年12月	●初めて鬼志別支所（現 鬼志別支店）開設	10月	●『インターネットバンキング』サービス開始
1950年 4月	●中小企業等協同組合法による稚内信用組合に改組	2005年 4月	●『ビジネスサポート飛躍』の取扱開始
1951年11月	●信用金庫法による稚内信用金庫に改組	10月	●創立60周年記念事業「宗谷経済センター」 建設資金の寄付等を実施
1953年 4月	●預金10億円突破	2006年 4月	●『稚内信用金庫行動綱領』の制定
1954年 4月	●内国為替業務取扱開始	6月	●第6代理事長に増田雅俊 就任
1965年 1月	●第3代理事長に高橋善之助 就任	6月	●第9回信用金庫社会貢献賞『Face to Face賞』受賞
1967年12月	●預金100億円突破	2007年10月	●第1回「しんきんフェスタ」の開催（本店ビル）
1970年12月	●日本銀行と当座取引開始	2009年11月	●琴似支店開設
1971年 5月	●創立25周年、本店新築落成記念式典挙行	2010年 1月	●『地域金融円滑化のための基本方針』の制定
11月	●日本銀行歳入代理店事務取扱開始	6月	●井須会長が最高顧問に就く
1973年 4月	●両替商業事務取扱開始（本店）	2011年 7月	●増田理事長 北海道旭川方面公安委員会委員に就任
10月	●電算機稼働開始	2012年 6月	●増田理事長 北海道信用金庫協会副会長、 全国信用金庫協会理事就任
10月	●営業区域を拡張（旭川市、士別市ほか）	10月	●若手経営者の会「てっぺん塾」設立
1975年 4月	●旭川支店開設	2013年 8月	●北海道内初「タッチ伝票」の利用開始
10月	●第1次預金業務オンライン開始	8月	●ユーラスエナジーホールディングス北海道北部 風力送電30万KW 送電網建設事業に出資
1976年 4月	●本支店が替自営オンラインシステム稼働	10月	●利尻富士支店新築オープン
4月	●CD稼働開始	12月	●預金4,000億円突破
1977年 3月	●役職員1人当たり預金高が全国信用金庫中 第1位となる	2014年 7月	●札幌医科大学と包括連携協定締結 ～メディカルカフェ等地域医療環境充実に協力
1978年 4月	●店外CD（稚内市役所）稼働開始	12月	●井須最高顧問 逝去・叙位（従五位）受く
1979年12月	●預金1,000億円突破	2015年 4月	●職員再採用制度&限定総合職制度導入 65歳定年制移行
1980年 5月	●QCサークル活動開始	11月	●増田理事長『黄綬褒章』受章
1981年10月	●新総合オンライン稼働	2016年 6月	●増田理事長 北海道信用金庫協会会長就任
1983年 4月	●第4代理事長に井須孝誠 就任	2017年 4月	●神居支店新築オープン
5月	●証券業務開始	6月	●第20回信用金庫社会貢献賞『Face to Face賞』受賞
6月	●営業区域を拡張（紋別郡雄武町）	11月	●枝幸支店・東支店新築オープン
1984年 5月	●日本銀行国債代理店業務事務取扱開始	2018年 1月	●「個人向け信託」取扱開始
1986年10月	●「稚内しんきん年金友の会」設立	9月	●北海道胆振東部大地震に因るブラックアウト 対策特別融資制度創設
1987年 1月	●ハンディ端末システム導入	2019年10月	●「しんきんiDeCo」の取扱開始
1988年10月	●第3次総合オンラインシステムへの乗替完了	11月	●「デジタル通帳」の取扱開始
1990年 4月	●全店ATM土休稼働実施	2020年 2月	●新型コロナウイルス感染に伴う緊急資金繰り 対策特別融資制度創設
10月	●預金2,000億円、貸出金1,000億円突破	6月	●増田理事長 全国信用金庫協会副会長就任
1991年 5月	●営業区域を拡張（札幌市、江別市ほか）	2021年 2月	●第40回信用金庫PRコンクール カレンダー部門で「第40回記念特別賞」受賞
1993年11月	●札幌支店開設	3月	●稚内市みどりスポーツパークのネーミングライツ 契約締結～社会教育分野に協力
1994年 1月	●第1回北海道地域文化選奨特別賞の受賞	4月	●礼文支店新築オープン
9月	●サハリン州企業研修生受け入れ	2023年 1月	●営業戦略センターを開設
1995年 5月	●営業区域を拡張（小樽市、恵庭市、千歳市ほか）	4月	●事務管理部をシステム情報センターへ改称
10月	●創立50周年記念特別記念事業 「営業地区管内の老人及び心身障がい者福祉施設への寄付金贈呈式」等の実施	5月	●南支店ビル「みなくる」オープン
11月	●メセナ大賞95（メセナ地域賞）受賞	8月	●中国水産物輸入禁止措置に伴う緊急資金繰り 対策特別融資制度創設
1996年 1月	●年金受給者向け「年金アップ定期100」の取扱開始	9月	●「こたら送金」取扱開始
9月	●イントラネット導入	10月	●企業型確定拠出型年金制度へ移行
11月	●井須理事長 『黄綬褒章』受章	2024年 4月	●「しんきんの共済制度」取扱開始
1997年 1月	●わかば教育ローン『合格ガンバローン』の取扱開始	4月	●増田理事長『旭日双光章』受章
1998年 6月	●枝幸町と指定金融機関の契約締結	11月	●「NISA」、「でんさいライト」取扱開始
6月	●井須理事長 全国信用金庫協会副会長就任		
10月	●稚内市と指定金融機関の契約締結		
10月	●清田支店開設		
1999年 6月	●第2回信用金庫社会貢献賞『Face to Face賞』受賞		
6月	●預金3,000億円突破		
2000年 4月	●アニメキャラクター『アンパンマン』関連商品の取扱開始		
2001年 8月	●カードローン「おてがる」の取扱開始		
2002年 1月	●住宅ローン『わが家』の取扱開始		
		2025年10月	●創立80周年記念事業の一環として、稚内市へ 「社会教育関連事業支援」の目的で寄付を実施

●営業戦略センター長
越後谷 英二



●旭川地区営業本部長
上西 一之

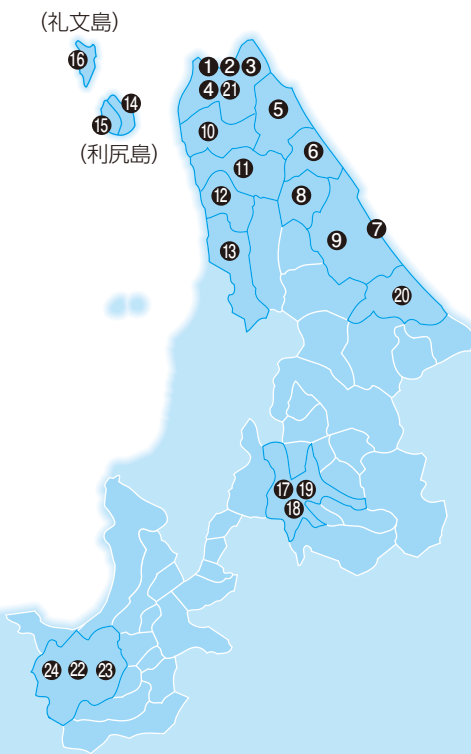


●札幌地区営業本部長
高津 彰久



(礼文島)

(利尻島)



■営業地区

稚内市・名寄市・士別市・旭川市・
深川市・滝川市・砂川市・美瑛市・
岩見沢市・江別市・札幌市・小樽市・
恵庭市・千歳市・北広島市・石狩市
及び北海道宗谷郡・利尻郡・礼文郡・
天塩郡・枝幸郡・中川郡・上川郡の
うち下川町・愛別町・和寒町・剣淵町・
鷹栖町・比布町・当麻町・東神楽町・
上川町・東川町・美瑛町・紋別郡
のうち雄武町・興部町・西興部村・
空知郡のうち奈井江町・南幌町・
石狩郡のうち当別町・新篠津村・
樺戸郡のうち月形町・夕張郡のうち
長沼町

※2026年6月末現在

■店舗のご案内



①本店

稚内市中央3丁目9番6号
TEL0162-23-5131(代表)
TEL0162-23-5132(1階)
TEL0162-23-5133(2階)
〈窓口昼休み／なし〉
■開設年月日／1945.10.15
■本店営業部 本店長 本山 和道
■預金／61,267
■貸出金／18,549



②南支店

稚内市大黒3丁目3番38号
TEL0162-23-5141(代)
〈窓口昼休み／なし〉
■開設年月日／1961.12.5
■支店長 牧野 哲也
■預金／38,355
■貸出金／3,693



③北支店

稚内市恵比須1丁目5番23号
TEL0162-23-4371(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1966.3.28
■支店長 小林 靖
■預金／10,367
■貸出金／265



④東支店

稚内市潮見2丁目1番31号
TEL0162-32-3651(代)
〈窓口昼休み／なし〉
■開設年月日／1973.12.1
■支店長 森 康一
■預金／27,718
■貸出金／4,874



⑤富岡支店

稚内市富岡2丁目1番1号
TEL0162-33-5151(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1989.10.2
■支店長 森 康一
■預金／17,086
■貸出金／783



⑥鬼志別支店

宗谷郡猿払村鬼志別南町183番地
TEL01635-2-3121(代)
〈窓口昼休み／12:30～13:30〉
■開設年月日／1948.12.1
■支店長 渡邊 日出男
■預金／13,857
■貸出金／2,247



⑦浜頓別支店

枝幸郡浜頓別町大通2丁目10番地
TEL01634-2-2323(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1950.10.1
■支店長 松本 尚貴
■預金／11,224
■貸出金／1,176



⑧枝幸支店

枝幸郡枝幸町本町705番地10
TEL0163-62-1281(代)
〈窓口昼休み／12:30～13:30〉
■開設年月日／1950.9.15
■支店長 日誌 賢一
■預金／30,624
■貸出金／2,090



⑨歌登支店

枝幸郡枝幸町歌登西町121番地34
TEL0163-68-2141(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1950.10.1
■支店長 日誌 賢一
■預金／6,160
■貸出金／200

窓口営業 火・水・金曜日
10:00～15:00

BANK NETWORK



⑧ 中頓別支店

枝幸郡中頓別町中頓別62番地の3
TEL01634-6-1121(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1951. 6. 6
■支店長 幅田 知行
■預 金／11,723
■貸出金／ 1,068



⑩ 雄武支店

紋別郡雄武町雄武702番地
TEL0158-84-3322(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1986. 11. 4
■支店長 山本 真
■預 金／14,942
■貸出金／ 1,684



⑪ 豊富支店

天塩郡豊富町豊富表通158番地
TEL0162-82-1200(代)
〈窓口昼休み／12:30～13:30〉
■開設年月日／1952. 4. 1
■支店長 宮本 堅
■預 金／19,919
■貸出金／ 1,728



⑫ 幌延支店

天塩郡幌延町3条南1丁目5番地
TEL01632-5-1224(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1951. 5. 20
■支店長 米津 隆範
■預 金／14,710
■貸出金／ 844



⑬ 天塩支店

天塩郡天塩町新栄通6丁目1234番地
TEL01632-2-1553(代)
〈窓口昼休み／12:30～13:30〉
■開設年月日／1950. 9. 1
■支店長 今野 貴之
■預 金／12,709
■貸出金／ 2,111



⑭ 遠別支店

天塩郡遠別町本町3丁目54番地1
TEL01632-7-2251(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1951. 5. 14
■支店長 片山 希
■預 金／14,335
■貸出金／ 1,003



⑮ 利尻富士支店

利尻郡利尻富士町鷺泊字本町6番地18
TEL0163-82-1126(代)
〈窓口昼休み／12:30～13:30〉
■開設年月日／1950. 5. 1
■支店長 桑田 大介
■預 金／13,613
■貸出金／ 2,936



⑯ 利尻支店

利尻郡利尻町杓形字本町34番地
TEL0163-84-2525(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1950. 5. 1
■支店長 秋山 大輝
■預 金／10,808
■貸出金／ 1,918



⑰ 礼文支店

礼文郡礼文町大字香深村字トソナイ277番地9
TEL0163-86-1050(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1951. 7. 1
■支店長 堀 光太郎
■預 金／14,491
■貸出金／ 2,496



⑱ 旭川支店

旭川市2条通8丁目左8号
TEL0166-23-2311(代)
〈窓口昼休み／12:30～13:30〉
■開設年月日／1975. 4. 1
■支店長 上西 一之
■預 金／20,531
■貸出金／ 3,570



⑲ 神居支店

旭川市神居3条5丁目1番7号
TEL0166-62-6262(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1978. 10. 2
■支店長 札場 雄介
■預 金／13,930
■貸出金／ 4,451



⑳ 末広支店

旭川市末広東1条8丁目1番9号
TEL0166-57-7111(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1982. 9. 20
■支店長 佐藤 直機
■預 金／20,020
■貸出金／ 1,606



㉑ 札幌支店

札幌市中央区北1条西7丁目1番
プレスト1・7ビル1F
TEL011-272-5531(代)
〈窓口昼休み／12:30～13:30〉
■開設年月日／1993. 11. 15
■支店長 高津 彰久
■預 金／21,654
■貸出金／10,660



㉒ 清田支店

札幌市清田区清田1条4丁目
1番40号
TEL011-886-5588(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／1998. 10. 12
■支店長 草階 卓哉
■預 金／23,423
■貸出金／ 6,603



㉓ 琴似支店

札幌市西区山の手3条1丁目
3番5号
TEL011-631-5102(代)
〈窓口昼休み／11:30～12:30〉
■開設年月日／2009. 11. 30
■支店長 松倉 晋一
■預 金／15,374
■貸出金／ 3,025

※預金・貸出金は、2026年3月末現在
(金額単位：百万円)

※各店店長は、2026年6月末現在



2026年 ディスクロージャー
〈経営内容公開〉

発行／2026年7月

- ・第82期事業概況
- ・自己資本の充実状況
- ・法令等遵守の体制 等

につきましては、以下のアドレスより「資料編」をご覧ください。

URL <https://www.shinkin.co.jp/wakashin/07-06.html>



印刷には環境に配慮した
植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。